

桃山公園の魅力向上事業説明会（7月開催 5回目）

日 時 令和3年（2021年）7月10日（土） 13：00～14：35

場 所 桃山台市民ホール 会議室

参加者 16名

議 事 意見への回答及び公募概要説明

意見と回答

市民

- ・反対署名で計画は左右されることはありませんという説明があったが、この公園に非常に関心を持っている私たちのいろんな意見や反対意見を無視する考えなのか。

吹田市

- ・無視するつもりは全くない。反対のご意見を受け止めている。環境に配慮するなどの文言を募集要項に記載する予定。

市民

- ・私たちは今の公園をこのままにしてほしいという願い。市の資金面からこのよう計画をされ、ここにいろいろ説明してもらったが、実際どのような感じになるのか想像できない。設備ができた後に不満が出てきた場合には再考してもらえるのか。

吹田市

- ・いつの間にかできているというのは当然あってはならないこと。8月に公募を開始すると言ったが、その後のスケジュールは前回伝えたとおり12月頃に候補者が決定する。その事業者で良いのかということとを来年2月の市議会で諮り、正式決定するかどうかの議決をいただくことになる。私たちとしては、こういった内容の提案が出てきたのか12月あたりにこのような説明の場を設けたいと考えている。これまでいただいているご意見もあるので、選ばれた事業者の大きな変更は難しいとしても、変更可能なところはあると思うので、そういったところを私たちが窓口となって事業者と協議を進めて、来年度以降、事業者が決定した場合には工事に入っていくなど、段階を重ねる中で今言ったご意見を反映させていきたい。

市民

- ・期待している。

市民

- ・事業者がコンビニみたいな施設をたくさん設置したら公園が台無しになる。もっと具体的な図面が見たいし、示してほしい。

吹田市

- ・具体的に示すことができないのは事業者が決まって、事業者が図面を設計するという内容のため。市が図面を設計するのではなく、あくまで配置イメージを示すだけ。12月頃には事業者の図面が公開できるようになると考えている。

市民

- ・御堂筋側の木を30本ぐらい伐採するというのを聞いた。桃山台の交差点近くに住んでいるが、窓が開けられないぐらいうるさい。桃山公園の近くの住民は音に対して恩恵を受けている。何十年前に自宅前の駐車場設置で木を伐採した際にもものすごくうるさく、木がどれだけ音を吸収していたのかを知った。だから、木を伐採するのは最終手段であり、よく検討してほしい。公園の木は今の姿になるのに50年かかっている。木を伐採することに賛成できない。

吹田市

- ・伐採本数の30本について、前回は説明したが、できるだけ環境に配慮するような募集要項にして事業者を募集していく。

市民

- ・今の状態のまま、伐採せずに施設を設置することはできないのか。みんな今の公園で十分と思っている。これ以上いろんなことをしてほしい。どうして公園を潰すようなことをするのか。

吹田市

- ・公園を潰すという認識は決していない。

市民

- ・30本も伐採するという事は潰しているのではないか。

吹田市

- ・30本は前回想定した数と回答したが、遊戯場を減らすことなどの努力によって環境に配慮する。

市民

- ・間に建物を設置するとかそのような考えた方をしてほしい。何かを潰して作るのは反対。設置するなら現状に合った施設を。

市民

- ・前回の説明会の後に木を見に行った。桃山公園の魅力は木々と池との自然のバランス、静かなところだと思う。魅力向上事業でどうして魅力が向上するのか。魅力を破壊している。木々を切るのは魅力向上にならないと思う。

吹田市

- ・ラクウショウの並木や池の景色は桃山公園の最大の特徴だと思っている。
- ・魅力向上とは、今ある魅力をさらに高めたいという趣旨であり、この公園を利用したことのない人、将来利用する人にとって新たなきっかけ作りなど、別の視点からこの公園を知ってもらい、別のサービスの視点でカフェや飲食店などが加わっても良いことであると考えている。環境や景観を引き立てるための施設が加わって全体としてこの公園の魅力が向上していくものと考えて進めている。

市民

- ・この公園を毎日利用している。吹田市職員は吹田市全体を見ないといけない。数年前、桃山台グラウンド周辺が荒れてきたことがあった。グラウンドのスロープにあるマットが並べられていて、予算と人手がないからこのようなことをやったのかと思った。スロープ上段に鉄板が並べられていて、今は U 字溝も置いてある。グラウンドを指定管理者に任せていることを聞いた。指定管理者制度を明るい未来の制度でデメリットはないという説明をしているが、このグラウンドの実態を把握しているのか。例として堺市の公園を挙げているが、身近な事例をもっと見るべきではないか。案内したいと思う。

吹田市

- ・指定管理者制度は他の部局や健都レールサイド公園でも導入されている制度である。
- ・権限は一部、指定管理者に委譲するが、しっかり現場が管理されているのかモニタリングを用いてしっかりチェックを行う。

市民

- ・文化スポーツ推進室に尋ねたらモニタリングを行っていると言った。いつ行ったかを尋ねたら、記録がありませんという回答だった。モニタリングやチェックなどは働くように思えるが、熱海の盛土の件があるように、行っても止めることはできない。指定管理者で1～3年はきれいなものかもしれないが、5年、10年経った時の状態が悪い場合、市は

責任を取れるのか。

吹田市

- ・市事業として実施しているので、市としてしっかり取り組まなければならないものと認識している。
- ・指定管理者制度は平成 18 年度から全国的に導入されており、サービス含めて向上したと認識している。

市民

- ・様々な意見について、Q&A で説明があったが、1 人でも 1 行、複数人でも 1 行、賛成が多いのか反対が多いのかわからない。
- ・桃山公園はたいへん魅力ある公園で住民にとってたいへん貴重な公園である。
- ・この公園を商業施設で汚されたくないという思いが強い。反対署名があることをもっとはっきりと捉えてほしい。
- ・商業施設や駐車場を設置することは魅力につながるとは思わない。
- ・事業者任せといっても過言ではない。
- ・市長はいつ桃山公園を視察したか。

吹田市

- ・日程までは確認できていないが、今年の 10 月ぐらいに視察に行つたと記憶している。

市民

- ・どれくらい滞在していたか。また、誰が案内したか。

吹田市

- ・公園みどり室は案内していない。市長が別の立場で視察したと思う。

市民

- ・現場を少し見ただけの可能性もあるのか。

吹田市

- ・それはわからない。

市民

- ・確認してほしい。

吹田市

- ・確認する。普段の事業では図面を使って市長に説明している。

市民

- ・図面では住民の知っている桃山公園を想像できないと思う。公園みどり室も含めて現地へ足を運び、周辺の住環境などを確認してから大きな計画を策定すべき。私はこの計画を一旦中止にしなければならないと思う。
- ・公園みどり室に年間3,000件ほどの苦情が来ると聞いたが、指定管理者に変わったらコンビニ、レストラン、駐車場の件などでもっと苦情が多くなるのではないか。公園みどり室に苦情は来なくなると考えているのか。

吹田市

- ・苦情はこれからも来ると考えている。それを指定管理者が対応することになる。一定の窓口は指定管理者になるが、吹田市も電話が来た場合は対応する。

市民

- ・指定管理者が公園みどり室へ電話するのか。

吹田市

- ・まずは指定管理者が窓口になって、管理者の不在時には連絡先を貼るといったイメージになると思う。今、吹田市に連絡しているのと同じように、施設の入口に指定管理者の連絡先を見て連絡すれば指定管理者が対応する。常駐時には直接対応になると思う。

市民

- ・指定管理者というのは事業者なのか。

吹田市

- ・そのとおり。

市民

- ・事業者に対する苦情は公園みどり室にはいかないのか。

吹田市

- ・もし、そういうことがあるのなら苦情を受け付けないといけないし、連絡をしていただけたらと思う。

市民

- ・苦情が減るわけではない。

吹田市

- ・結果としてどうなるかわからないが、今よりも早く対応していただけるのではないかと考えている。現行はたくさん苦情の中から優先順位を決めて対応しているが、指定管理者だと早く対応していただける。

市民

- ・今回の件はどのような形で疑問などを私たちは解決していけば良いのか。出席者の質問や意見に対して市の回答では納得できるものではない。

吹田市

- ・理解をもらえてないのは市の説明が足りないのかもしれないが、このような形で説明会を開催している。これ以降のご意見を受け付けられないものではない。

市民

- ・個別対応は苦情処理と変わらない。

吹田市

- ・なので今回の説明会を開催したという認識でいる。

市民

- ・出席者が理解できない部分はどうするのか。私たちは必死だ。

吹田市

- ・募集まではこの形で一回終わらせていただきたい。ただし、事業者がいつの間にか工事を始めているということはないよう、工事までに説明会の開催を考えている。

市民

- ・そんな極端な例はないと思うが、ある日突然再整備計画という紙が貼られて住民たちが慌てふためくのではないかと。信頼してくださいと言われても信頼できない。

市民

- ・公園がこのままであることで市に何か不都合なことがあるのか。

吹田市

- ・今のままだと、公園の整備や管理費用が減ることはあっても増える見込みはなく、今後、財政的にも人間的にも現在の管理水準を維持することが難しくなってくる。民間の資金やノウハウを活用するのが今回の P-PFI 事業である。

市民

- ・維持費の面が一番の理由なのか。

吹田市

- ・維持費も理由の一つではあるが一番ではない。いろいろな改善を考えている。例えば、トイレは今のままでも十分きれいだし良いというご意見もある。

市民

- ・そんな今のままで良いという話が出ているのか。

吹田市

- ・そういうご意見をいただいたことがある。

市民

- ・どれぐらいの意見なのか、小さいのか大きいのか 1 人なのか。

吹田市

- ・ 1 人から電話でそのようなご意見をいただいた。
- ・トイレを修繕してずっと使えば良いのではないかというご意見があるが、バリアフリー新法に対応していないし、このまま放置すると傷んでくる、吹田市内の公園のトイレが 54 個あるが、修繕が 1 年 1 個ペースである。

市民

- ・計画的にやれば良い。
- ・桃山公園のトイレ修繕が先にできたからといって喜ぶ住民はいない。

吹田市

- ・今のままでは 10 年、20 年先になるかもしれない。

市民

- ・それは全部の公園に言えることでは。

吹田市

- ・できない中で今回の P-PFI 制度を使うことにより、国の交付金が交付される。事業者と一体的な整備ができることによって吹田市がなかなかできないような課題を解決していきたいというのが今回の事業の始まりである。

市民

- ・それと引き換えに環境破壊することは全く違う議論になる。

吹田市

- ・魅力向上は何かという説明を上手くできてないかもしれない。しかし、魅力向上について部分的には樹木の伐採も含まれるが、総じて公園として良くなってほしいと思ってこの事業を進めている。

市民

- ・他で捻出できる予算があれば、このままにしてほしい。

吹田市

- ・このまま対処療法みたいなことができればそれで良いと思うが、10年、20年を見通すことができないという判断をした。

市民

- ・公園みどり室の数人の意見ではなくて、公園みどり室がどのような組織になっているのかわからなかったので、問い合わせた。公園みどり室は桃山公園・江坂公園の計画グループがあるらしい。担当しているのが3人、3人で設計図を書いて8月に公募が始まるということだが、この3人は大きな計画を担っているのだと思う。その計画の承認はまず主幹にいく、次に2人の参事、最終決定が室長だと聞いている。疑問に思うのは、室長が今年4月に異動したばかりでそんな人が最終決定権を持っていいのか。公園みどり室が39人で構成されているが、これをまとめていくのは大変だと思うが、意思疎通が取れているのか。指揮系統はどうなっているのか。疑問に思う。
- ・反対署名はあるが計画は進めますという説明だったが、桃山公園に関心があつていろいろな意見があるが反対意見を無視する考えなのか。
- ・水鳥の専門家は誰か。

吹田市

- ・計画グループの中に担当しているチームはある。チームが中心になっているかもしれない

が、当然、公園みどり室として対応している。総括参事は2人いる参事を総括する立場にあり、室長の補佐をする立場でもある。公園みどり室には室長がいる。室だけで判断できるものではなくて、土木部の中に公園みどり室があるので土木部としての判断、意思決定がある。さらに担当の副市長がいて、その上に市長がいる。個人の感覚や好き嫌いで事業を進めてはいないし、市として判断して今回の説明をしている。

- ・水鳥の専門家について、個人名は差し控えるが、野鳥の会の関係者である。

市民

- ・吹田野鳥の会なのか。

吹田市

- ・個人を特定することにつながるので差し控える。

市民

- ・野鳥の会の会員は大勢いるのでは。

吹田市

- ・吹田野鳥の会の会員に確認している。

市民

- ・吹田野鳥の会も責任ある立場であると思う。この事業に関してどういう見通しを持っているのか。是非、示してほしい。

吹田市

- ・去年の12月に伺っており、野鳥は騒がしくしたら逃げていくかもしれないが、一旦落ち着くと帰ってくるという話や水草の関係、人の餌やりの関係など、様々な要因が野鳥の飛来に影響することを一般論として助言していただいた。今回の事業で池の劇的な変化は想定しておらず、環境の維持はできるようにする。

市民

- ・希望の話では。

吹田市

- ・そのように可能な限り努力している。

市民

- ・桃山公園の鳥がすごく増えている。千里南公園の水鳥がこっちに来ていると聞いた。朝4時に確認したら千里南公園から水鳥が桃山公園に向かっていった。桃山公園の環境がいかに良いかという表れだと思う。

市民

- ・自治会にはこのように事業を進めるという報告をしているのか。

吹田市

- ・自治会には報告している。

市民

- ・自治会の役員をしている人からそのようなことを聞いたことがない、知らなかったと言っていた。
- ・自治会の役員会、協議会で事業に関する意見を聞いていないように思う。なので、自治会への報告がなく、勝手に事業を進めているものだと思った。

吹田市

- ・昨年8月に竹見台・桃山台連合自治会、今年の3月後半にそれぞれの自治会・連合自治会を対象とした説明会を開催した。

市民

- ・それは確実に住民に伝わっているのか。

吹田市

- ・自治会の1人1人にまで伝わっているかは確認できない。

市民

- ・伝わり方が自治会によって異なるみたいだ。昨年11月末に公園の柵にパブリックコメントの紙が貼られたが、公園を利用する何人かが少しずつ気がついてこれはおかしいという流れになった。自治会の人には知らなかったのでは。

吹田市

- ・自治会の末端まで把握はしていないが、少なくとも連合自治会役員を対象に3月の土日に説明会を開催した。桃山台3丁目自治会についても、自治会長と話した際に説明会の内容などについて回覧していると聞いた。

市民

- ・自治会の人たちもようやく声を上げ始めた。各自治会の意見をよく聞いてほしい。大変だと思うが、桃山公園が激変する事業なので、1か月、2か月遅れようが事業者任せではなく、公園みどり室・住民でこの計画を再考するのか、このまま進めるのかを考える必要があるのではないか。

吹田市

- ・事業者任せとは認識していない。制度上、提案を求める形になる。通常の工事発注であれば、市が設計してそれを施工業者に指示するものであるが、今回の事業の場合は一定の条件を付け、事業者に提案を求めることでより良いものを作るというものである。

市民

- ・クレーマーになりそうだ。クレーマーへの個別対応は延々と続くのか。連絡したらすぐ対応してもらえるのである種の快感を覚えるが、これは良くないことだと思う。

吹田市

- ・すぐに対応できる場所とできないところがある。

市民

- ・御堂筋沿いの木を伐採した場合、ヒートアイランド現象で道路からの熱風が来ると思うが、他の木々に枯れたり弱ったりといった悪影響は出ないのか。それについて調査をしているのか。

吹田市

- ・科学的な調査はできていない。ただし、ラクウショウの並木は遮蔽、騒音の面でも貢献していると認識しているのでできるだけ伐採する木を減らせるようにしていきたい。

市民

- ・ずっと話を聞いていたが、市職員で桃山台に住んでいる職員はいないのではないかと感じた。もし、職員に桃山公園の利用者がいたらこの計画はもっと変わったものになったのではないかと。住んでいる住民の感覚と市の感覚がかなり乖離している。理解してもらえないように感じた。住民との感覚の違いをもっと感じてほしい。

吹田市

- ・桃山台近隣に住んでいる職員はいる。桃山台の他にもニュータウンには自然あふれる公園

があるので職員も住民と同様に肌で感じている。価値観の違いは生じてしまう。

市民

- ・タウンミーティングを開催してほしい。

吹田市

- ・説明の場として、今回の説明会を設けている。

市民

- ・それは当たり前。土木部全体で市長も交えてタウンミーティングをすることで魅力向上を図ってほしい。

吹田市

- ・タウンミーティング形式の説明会を開催する予定はない。市長には今日の状況や前回の状況を報告している。市長からの指示を受けて、今回の説明会を開催した。

市民

- ・歳入が減っている、職員が減らされる、環境への影響など、曖昧模範な回答である。歳入が減っていくというのはどのように捉えたら良いのか。このような大きな事業の場合、明確な数値を示さないといけない。職員数がどう減らされるのか。今、現場の職員が活用されているのか。事業に関する対応で忙殺されているのではないのか。できるだけ多くいて働かせてほしいと思っているが、どのように減らしていくのか数値で示してほしい。
- ・2,000万円を支払って指定管理者に公園の維持管理させることについて、納得できない。
- ・環境への影響も数値で示してほしい。御堂筋から池まで全部切るわけではないという曖昧な回答である。入ってくる光の量、音の大きさなどの数値を示してほしい。ラクウショウの落ち葉の堆積量はかなりあり、指定管理者が管理できるのか疑問に思っていて、落ち葉が多いという理由で他のラクウショウも伐採するのではと危惧している。

吹田市

- ・ご要望として受け止め、数値については可能な範囲で説明する。
- ・職員数について、決まっているのなら示すことができるが、現時点では決まっていないので示すことができない。職員数の縮減については人事部局から通知が来ている。詳しいことは人事部局に問い合わせしてほしい。

市民

- ・環境への影響についても、専門家を通せば数値が出てくるはず。示してほしい。

吹田市

- ・具体的な整備内容が決まっていないので、現時点で数値を示すことはできない。

市民

- ・全部決まってから調査するのでは遅すぎる。30本伐採したら池にどのような影響があるのかを専門家に依頼し、その結果を私たちに示してほしい。

吹田市

- ・ご要望として受け止めるが、実際、その説明ができるかどうかはわからない。

市民

- ・すべてを解決してほしいというわけではない。次回の説明の時に調査結果を示してほしい。

吹田市

- ・ご要望として受け止める。

市民

- ・市議会でも説明会のことを報告したのか。市長が見るだけでは、住民が悩んでいることはわからないと思う。市議会にも報告してほしい。

吹田市

- ・市議会での議決を受けて進めている事業なので、このように説明している。

市民

- ・過程が問題と出ているのでは。自治会も昨年8月から始まったアンケート調査を知らなかった。おかしいという意見が何回も出ている。コロナの影響で知らせられないまま、知ってからどう対応するかで右往左往している間に市議会で決まってしまう。

市民

- ・決まったのか。

吹田市

- ・2月市議会でパブリックコメントの件数・内容、目指すべき姿を示し、P-PFI、P-PFIにかかる費用について上程し、審議を経て議決を受けた。

市民

- ・公園みどり室の責任は大きいと思うし、それを放棄しているように思う。事業者任せれば自分たちの仕事を減らせるという印象を受ける。その証拠に現場を視察せずに採決した議員がほとんどではないか。

吹田市

- ・議員が現場を視察しているかはわからないが、市が責任放棄するものでは決してない。市の手が届かない部分を民間に任せるという役割分担である。

市民

- ・きちんとモニタリングができていない例が桃山台グラウンドにある。そこから学んでほしい。

吹田市

- ・わかりました。

市民

- ・グラウンドを見て、指定管理者制度はこんな危うい点があるときちっと職員全員が知る必要があると思う。

吹田市

- ・現場を確認する。

市民

- ・一緒に行くので日程を教えてください。

吹田市

- ・文化スポーツ推進室と相談する。

市民

- ・住民にも知らせてほしい。

吹田市

- ・公園みどり室が理解すれば十分なのでは。

市民

- ・住民に指定管理者に任せたら良いこともたくさんあるが、徐々に荒れてくる、ずさんになってくる実態を知る必要がある。案内するから日程を教えてください。

吹田市

- ・文化スポーツ推進室と調整して公園みどり室が確認する。

市民

- ・その様子を写真に撮ってほしい。

吹田市

- ・対応します。